

2016 年 摂津市長選挙

基本政策協定書

摂津明るい民主府・市政をつくる会

2016年 摂津市長選挙にあたって

2016年 8月17日

摂津明るい民主府・市政をつくる会

9月11日告示、18日投票で摂津市長選挙が行われます。摂津明るい会は、森山市政が市民生活に何をもたらしたのか、何が不足しているのか、問題点は何かなど検証と議論を重ねてきました。

この4年間で、国政は民主党政権から安倍自公政権へと代わりました。大阪ではおおさか維新府政が続いています。アベノミクスや消費税8%への増税、生活保護基準の引き下げなどで貧困と格差が拡大しています。加えて大阪では「都構想」に固執する維新府政のもと、暮らしと景気をより深刻化させてきました。大阪の賃金は、東京や愛知と比べても落ち込みが激しく、家計消費も大きく低下し、全国平均を下回っています。

摂津市は、こうした国・府の悪政と対決し防波堤となって市民や中小業者を守るために頑張らなければなりません。子ども医療費助成制度の拡大や市独自の制度融資拡充などねばり強い市民運動を背景に実施した施策もありますが、全体として、市民サービスの削減、負担増、また、市の責任を投げ出す民間委託・民営化を基本とする行革路線が継続しています。上下水道料金は北摂7市で最も高く吹田市の1.4倍。国保料は、2014年、2015年と2年連続で値上げされ、年間所得200万の4人家族（40歳代夫婦と子ども2人）で約37万円と、所得の18%を占めています。また、受け取る年金が減っているのに介護保険料・利用料の負担も引き上げられました。保険料や税金を払いたくても払えず納付相談に市役所に訪れる市民に対する厳しい取り立ても目立っています。

一方で、財政力は高く、市民一人当たりの市税収入は府内トップクラス（府内2番目）。積み立てている基金（貯金）は10年間で2.7倍、過去最高の146億円に達しています。この財政力を生かし、とことん市民の暮らしを支える摂津市に変えましょう。

7月の参院選挙で、自民・公明・おおさか維新など改憲勢力が衆参両院で3分の2を占めました。選挙の時には口にしなかった憲法改悪論議が数の力で進められようとしています。

憲法は、平和と私たちの日常の暮らしを豊かにする義務を国や行政に課しています。しかし、安倍政権や維新府政はこの憲法の各条項に誠実に向き合おうとせず、あろうことか、政権や行政が国民を支配するものに大きく変えようとしています。

変えなければならないのは、憲法ではなく、憲法をないがしろにしている今の政治です。憲法の内容を政治に生かせば、市民の負担を軽減したり、所得を増やしたり、意欲に応じて学ぶことがもっとできるようになります。まずは身近な摂津市政から変えましょう。憲法を生かす市長に変えれば市政は変わります。市政が変われば暮らしも変わります。

摂津明るい会は、安倍自公政権とおおさか維新府政と対決し、憲法をまもり生かした摂津市政に向け、次ページ以降に記す、**5つのビジョンと24の重点政策**を掲げ、一致点の共同を大切に全力でたたかいます。

変えよう せっつ！ 5つのビジョン

1. 医療・介護・福祉充実のまち せっつへ

- (1) 高すぎる国民健康保険の負担を軽減し、大阪府による「統一化」に反対します。
 - ① 高い国保料を1人あたり平均1万円引き下げます。
 - ② 値上げと減免制度改悪につながる維新の「国保統一化」に反対します。
- (2) 介護保険制度の充実と負担軽減を図ります。
 - ① 要支援の新総合事業移行後も現行通り持続的にサービスを提供します。
 - ② 国の要介護者のサービス外しに反対します。
 - ③ 保険料の引き下げ、減免制度の拡充、利用者の負担軽減を図ります。
- (3) 高齢者、障害者施策の後退を許さず独自施策を充実します。
 - ① 生活道路、歩道の段差や見通しの悪い交差点など危険箇所を総点検し改善します。
 - ② 公共バスの運賃補助（シルバーパス）制度を創設します。
 - ③ 高齢者や障害者、子連れママなど交通弱者に対する移送サービスを大幅に拡大します。
- (4) 親身な市民相談、丁寧な対応を徹底します。
 - ① 相談者に優しくわかりやすい言葉で対応します。
 - ② 広報や掲示物の表現をわかりやすい用語に切り替えます。
 - ③ 納付相談は相談者の実情をよく聞き、納付計画は合意と納得の上で作成します。強権的な取り立て、差し押さえは行いません。

2. 中小企業の営業、労働者の権利をまもるまち せっつへ

- (1) 摂津市中小企業、小規模事業者振興条例を制定します。
- (2) 住宅リフォーム助成制度を創設します。
- (3) 小規模修繕工事契約希望者登録制度や制度融資のさらなる拡充を図ります。
- (4) 企業誘致促進条例により交付金受給企業への雇用拡大、地域住民・環境など摂津市への貢献要件を強化します。
- (5) 市内企業へ正規雇用拡大を促します。

3. 子育て・教育一番のまち せっつへ

- (1) 詰め込み保育を許さず保育の質をまもり、待機児童ゼロへ市の責任で認可保育所を増やします。
- (2) 小中学校全学年で35人学級を実現します。
 - ① 一人ひとりの子どもに大人の目が行き届く、落ち着いた学習環境で、基礎学力の向上と豊かな成長を保障します。
 - ② 全国学習状況調査や府のチャレンジテスト、市の定着度テストなどテスト漬けの競争をあおる教育を見直します。
- (3) 中学校給食は、小学校同様、自校調理・全員給食を実施します。
- (4) 就学援助金制度の認定基準の引き上げと、第1回目の支給月を学校用品の購入で出費がかさむ年度当初へ早めます。
- (5) 子ども医療費助成の対象を中学校卒業から高校卒業までに拡大し、入院時食事療養費助成を復活します。
- (6) 学童保育の民間委託計画を中止し、内容の充実を図ります。

4. 安全で便利なまち せっつへ

- (1) 旧味舌小・旧三宅小の跡地の売却は凍結ではなくきっぱり中止し、残存校舎を含め住民参加、合意と納得のもと有効活用を図ります。
- (2) 防災施策を強化します。
 - ① 避難場所・避難所・避難経路を確保します。
 - ② 地域防災マップ作りを支援します。
- (3) 交通不便地域をなくします。
 - ① デマンド交通など新しいバス路線の新設・増便を図ります。
 - ② 公共施設巡回バスの運行コース、運行時間を拡大します。
- (4) 公共施設の耐震化100%（現状93.3%）
 - ① 正雀保育所、鳥飼保育所、消防千里丘出張所の耐震化。
 - ② 非構造部材（壁、照明、ガラス、棚など）の耐震化を急ぎます。
- (5) 太陽光発電施設の公共施設への設置を促進するとともに民間住宅への助成制度を創設します。

5. 市民みんなでつくるまち せっつへ

- (1) 政策形成過程から情報公開を徹底し市民参加を保障します。

- ① 結論ありき、議論の時間が保障されないようなアリバイ的な審議会等ではなく、政策形成過程における市民参加を保障します。
- (2) 「憲法をまもり人間を尊重する平和都市宣言」都市にふさわしい平和施策の充実と安保法制の発動に反対します。
- (3) DV・セクハラ・児童虐待・性的マイノリティなど相談窓口を充実します。
- (4) 日本国憲法や市民憲章、「暴力追放宣言」など都市宣言にふさわしいクリーンで公正の市政運営を行います。

以上、2016年摂津市長選挙予定候補者・清水信行氏、摂津明るい民主府・市政をつくる会及びその構成諸団体は、本基本政策に合意し、ここに署名捺印します。

2016年8月17日